

第7回横浜市都市美対策審議会北仲通北部会

次 第

日 時 平成 25 年 4 月 25 日(木)
午後 5 時 30 分から 6 時 30 分まで

会 場 横浜市庁舎 5 階 関係機関執務室 1

次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 景観の協議について(報告)

(2) その他

3 閉 会

資 料

資料1:景観デザイン計画検討状況資料

第7回横浜市都市美対策審議会北仲通北部会 委員名簿

開催日時:平成25年4月25日(木) 17:30-18:30

| | | 氏名(敬称略) | 現職等 |
|---|------|---------|--------------------------------|
| 1 | 部会長 | 卯月 盛夫 | 早稲田大学教授(都市デザイン) |
| 2 | 委員 | 関 和明 | 関東学院大学工学部建築学科教授(建築史) |
| 3 | " | 野原 卓 | 横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授(都市計画) |
| 4 | 専門委員 | 国吉 直行 | 横浜市立大学特別契約教授(都市デザイン) |

欠席

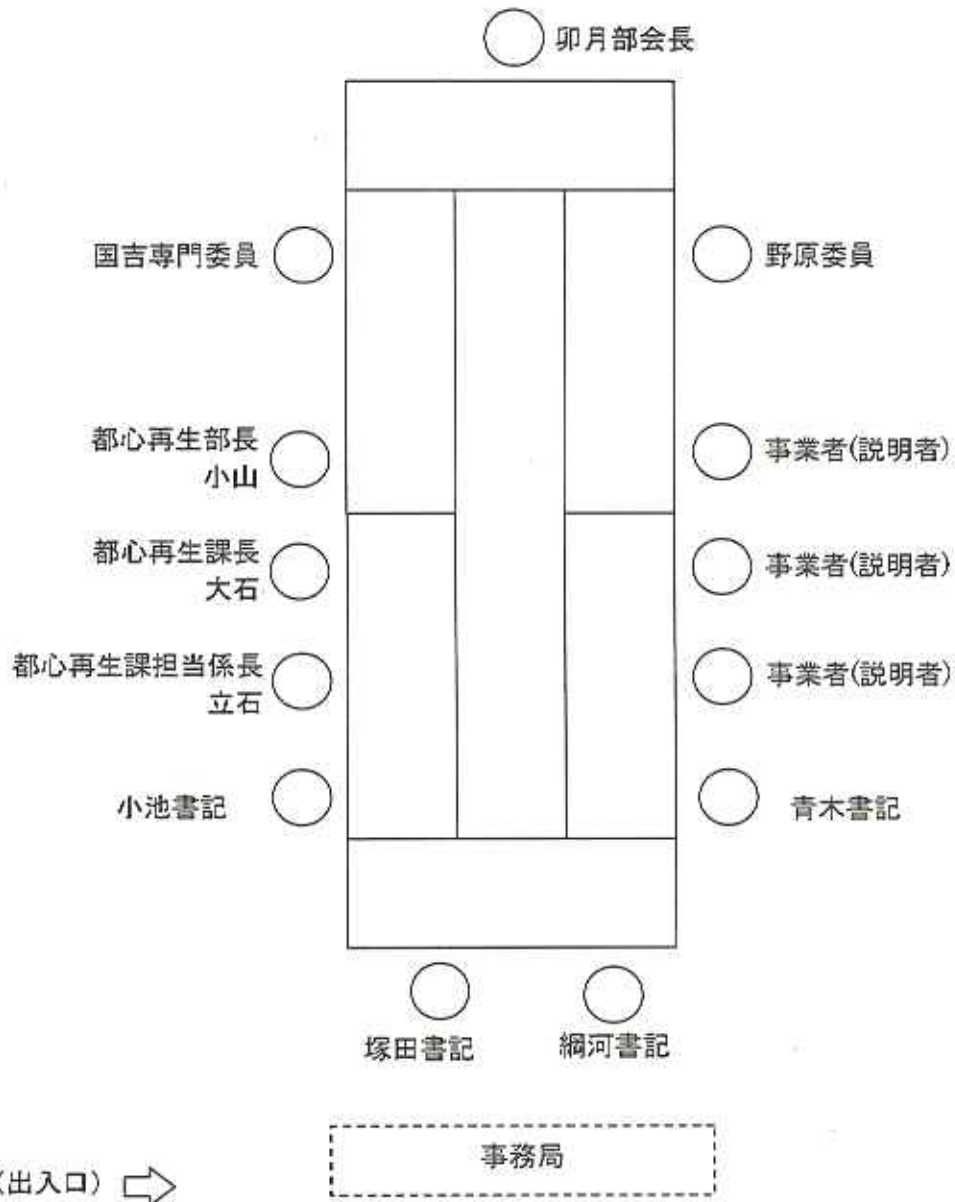
| | | | |
|----|-----|-------|------------------------|
| 6 | 関係課 | 小山 孝篤 | 横浜市都市整備局都心再生部長 |
| 7 | " | 大石 龍巳 | 横浜市都市整備局都心再生部都心再生課長 |
| 8 | 書記 | 青木 治 | 横浜市都市整備局企画部長 |
| 9 | " | 網河 功 | 横浜市都市整備局企画部都市デザイン室長 |
| 10 | " | 小池 政則 | 横浜市都市整備局地域まちづくり部長 |
| 11 | " | 塚田 洋一 | 横浜市都市整備局地域まちづくり部景観調整課長 |

【第7回横浜市都市美対策審議会北仲通北部会 座席表】

日時 平成25年4月25日(木) 午後5時30分～6時30分

会場 横浜市庁舎 5階 関係機関執務室1

速記録



第7回横浜市都市美対策審議会北仲通北部会

北仲通北地区A-4地区

景観デザイン計画検討状況資料

目次

- 1 3/26都市美審後のデザイン調整の経緯
- 2 3/26都市美審指摘の概要
- 3 4/5第1回国吉アドバイザー打合せ概要 (A案)
- 4 4/5第1回国吉アドバイザー打合せ概要 (B案)
- 5 4/12第2回国吉アドバイザー打合せ概要
- 6 4/19第3回国吉アドバイザー打合せ概要

2013年4月25日

森ビル株式会社・丸紅株式会社

3/26都市美審後のデザイン調整の経緯

3/26 都市美審 北仲通北部会



都市美審での指摘を踏まえて
A案とB案を作成

4/5 第1回国吉アドバイザー打合せ

B案に方針決定



B案の修正

4/12 第2回国吉アドバイザー打合せ

タワー部分はOK



B案の修正

4/19 第3回国吉アドバイザー打合せ

地元説明用としてはOK

4/26 三者連絡会

外観パース提示予定

3/26 都市美審北仲通北部会指摘事項概要

①平面形状と立面形状の整合

- ・平面形状の矩形への変更は了解だが、立面形状と平面形状が一致していない。
- ・帆の曲線が唐突。
- ・グラフィカルな印象。

②帆をイメージしたファサードの追求

- ・帆の部分が全体を包むようなデザインができないか。

③パブリックフロアの見せ方及び頂部デザイン

- ・全体をシンプルにしてパブリックフロアを強調する考え方もある。

3/26提出案

デザインコンセプト：帆をイメージしたファサードデザイン

- 1 横浜らしさを表現する優美でシンボリックなフォルム
- 2 新旧横浜を表現したランドマーク
- 3 空に抜ける上昇感の表現



3/26提出イメージパース

4/5 第1回国吉アドバイザー打合せ A案指摘概要

A案について

- ・これ以上の工夫は難しいように思える。
- ・パブリックフロアと帆のイメージの共存が難しい。
- ・帆についてはインターコンチネンタルホテルの方がフォルムとして強いので中途半端になる可能性がある。

4/5提出A案

デザインコンセプト：帆の衣をまとったシンボリックデザイン

- ① 3/26案をベースとした修正案
- ② 北側コーナー部を曲線とし長手側の水平線を回り込ませ帆を海側まで連続するイメージを表現
- ③ パブリックフロアを強調する丸柱の採用
- ④ 頂部のアールの立体感を出すため、頂部のマリオンを調整



4/5提出A案イメージパース

4/5 第1回国吉アドバイザー打合せ B案指摘概要

B案について

- ・パブリックフロアとプレミアム住宅を一体としたデザインが、北仲地区全体のシンボル性を高めているように思える。
- ・更なる工夫をすることでデザイン的な発展が可能と思える。



- ① B案をベースとして今後進める方針とする。
- ② タワー外観はさらに工夫をしてほしい。
 - ・どこから見ても変化のある外観デザイン
 - ・特に短手立面での工夫
- ③ マリオンのレンガ色を調整のこと。
- ④ 低層部の歴史的建造物とその上部は切り分けたデザインとし、歴史的建造物を引き立てるようにしてほしい。

4/5提出B案

デザインコンセプト：平面形とファサードが一致するデザイン

- ① 矩形平面をベースとしバルコニーの曲線で柔らかさを表現
- ② エレベーションをパブリックフロアで切り分けて高層部が際立つデザイン
- ③ パブリックフロアを強調する傾斜ガラスの採用
- ④ 横浜ベイエリアの特徴的な傾斜するスカイラインの継承



4/5提出B案イメージパース

4/12 第2回国吉アドバイザー打合せ概要

- ①タワーデザインについては今の段階ではOK。
- ②短手面の頂部は改善された。
- ③低層部の色はグレー系として、歴史建造物群との違いをより明確化したほうがよい。
- ④地区間デッキのデザイン調整を行ってほしい。

4/12提出案

デザインコンセプト：空に抜けるシンボリックな頂部デザイン

- ① 海に向かって段階的に傾斜するスカイラインの創出
- ② 矩形平面をベースとしバルコニーの曲線で柔らかさを表現
- ③ エレベーションをパブリックフロアで切り替えて高層部が際立つデザイン
- ④ パブリックフロアをより強調する傾斜ガラスの採用



4/12提出イメージパース

4/19 第3回国吉アドバイザー打合せ概要

①この案の方針で地元説明を行ってよいと思う。

今後の課題

- ②1階ガレリア空間の構成(階段・柱等)はB-1地区への視線の抜けを考慮して調整すること。
- ③エネルギー棟の外観デザインは検討が必要。
- ④環境未来都市に対応した取り組みをしてほしい。

4/19提出案

デザインコンセプト：空に抜けるシンボリックな頂部デザイン

- ① 海に向かって段階的に傾斜するスカイラインの創出
- ② 矩形平面をベースとしバルコニーの曲線で柔らかさを表現
- ③ エレベーションをパブリックフロアで切り替えて高層部が際立つデザイン
- ④ パブリックフロアをより強調する傾斜ガラスの採用



4/19提出イメージパース